

守山まるごと活性化 議事要旨

作成者：菅

会議名： 第8回守山まるごと活性化プランDプロジェクト会議

日時：平成28年12月15日(木)午後2時から

場所：ほたるの森資料館

出席者：伴野学区長、弘光代表、尾田副代表、藤本、宇野、ほたるの森資料館 古川

出席者(行政)：守山会館 田中館長

使用資料：2016年度ホタル講座第4回、平成29年度守山学区事業計画案

議題

1. 「第4回ホタル講座」について
2. 平成29年度守山学区まるごと事業計画(案)について

会議要旨

内容

1. 「第4回ホタル講座」について

【カワニナの飼育および給餌について】

●カワニナについて

- ・守山市内では「チリメンカワニナ」がよく採れる。カワニナの種類は貝殻の筋で見分けられる。
- ・カワニナは砂を好み潜ることもあるが、貝が全て隠れるほど潜ることはない。
- ・稚貝は絶食・飢餓状態に非常に弱く、餌を与えずにいると一週間ともたない。
- ・水が汚れていると全滅するのでカワニナの飼育時は餌と水環境には十分注意すること。

●カワニナの餌について

- ・イヌビワの葉を主食にしている。
- ・天日干しの白菜やじゃがいもの皮を好むが、夏場は水槽の水が汚れやすいので、会館に設置している環境バランス水槽では避けた方が良い。
- ・ゲンジボタルの幼虫は、自分の体長より大きいカワニナを捕食することは滅多にない。
- ・体長より大きいカワニナを与えても捕食できず、幼虫が死んでしまうことがある。

●ほたるの幼虫の死がいのについて

- ・ゲンジボタルの幼虫が死んでしまった場合、死がいが見つからないことが多い。水槽内のバクテリアに分解されたか、カワニナに食べられたと考えられる。
- ・カワニナが食べた場合は、1週間で皮すら残らないことが分かっている。
- ・水槽に放置した場合は、約3ヶ月で形がなくなる。

●環境バランス水槽について

- ・環境バランス水槽は本来、ほたるの幼虫食べるための稚貝を増やす装置なので、3月か4月頃に組む必要がある。
- ・幼虫に捕食された後のカワニナの貝殻が溜まってきたら、貝殻の掃除が必要。

(裏面に続く)

決定事項

次回 平成29年1月17日午後2時30分から守山会館

次回以降について

- ・「第5回ホタル講座」について
- ・ヘイケボタルの里づくり事業の取り組みについて

会議要旨

内容

●放流について

- ・幼虫を放流する場合は申請が必要。時期はだいたい3月から4月上旬頃。
- ・環境バランス水槽の幼虫が小さすぎる場合は資料館から提供できるかもしれない。

2. 平成29年度守山学区まるごと事業計画案について

- ・Dプロジェクトではソフト事業として10万の申請を行っている。
- ・ほたる啓発看板の作成と、ほたる関係のイベントの開催を予定。
- ・ハード事業は申請していないので、ソフトの予算で今年度事業を進めていけたらと思う。